学校番号	T0301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新　高校の数学Ｂ」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生までの数学Ⅰを復習しながら、数列と統計的な推測について学習します。また、社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察する技能を身につけます。
・わからないことはすぐに授業担当者に質問をしても構いません。わからないことをそのままにしておくことはやめましょう。
・スクーリング（授業）に全て出席することが基本です。欠席すると授業内容がわからなくなるため、レポート課題に取り組むことが難しくなります。
・毎授業後にレポート課題を課します。必ず期限内に提出し、合格するようにしましょう。
・定期テストは授業内容を中心に出題されます。
・教科書を使います。忘れずに持ってきて下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数列、統計的な推測についての基礎的な知識や技能を習得します。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。
【学びに向かう力、人間性等】
それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	数列 等差数列 等比数列 複利法と等比数列 和の記号Σ 階差数列	a:等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 b:事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に考察することができる。事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考え方を問題解決に活用することができる。 c:数列について、意欲的に学習しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	レポート課題 観察
後期	統計的な推測	確率 確率変数と確率分布 二項分布 確率密度関数 正規分布 二項分布と正規分布	a:標本調査の考え方について理解を深め、確率変数と確率分布について理解している。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 b:確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。目的に応じて標本調査を設計し、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c: 統計的な推測について、意欲的に学習しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	レポート課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度